



# 議会だより

2012年11月1日発行

第34号



- 9月定例会 ..... 2
- 臨時会 ..... 4
- 一般質問 8議員が町政を問う ..... 5
- 議会のうごき、中部町村議会議長会永年在職議会議員表彰... 13
- 委員会報告 ..... 14
- どうなっている あなたの陳情、議員提案で意見書... 15
- 町民の声、あとがき ..... 16

## 幼保育園運動会

発行 鳥取県琴浦町議会

編集 議会広報特別委員会

電話/(0858)52-1710 FAX/(0858)49-0000

ホームページアドレス <http://www.town.kotoura.tottori.jp/cms/index1108.html>

賛成

14人

反対

3人

で認定

歳出113億3,500万円(前年比10億9,920万円増) ———

開かれました。

議員提出議案4件を合わせて慎重に審議し、原案のとおり可決、認定および同意

討論

◎平成二十三年度一般会計歳入歳出決算

反対 高塚議員

役場新庁舎について建設の必要がなく、予算も反対している。同和对策関連事業も特定地域に限定されており改善されていない。職員の雇用差別が解消されていない。

賛成 新藤議員

厳しい財政状況のなか、無駄を省き主な施策にきちんと予算執行されている。同和对策関連事業にも人権を守るという意識が感じられる。

反対 青亀議員

町政の改革すべき点は同和对策事業の終了である。町が進める施策で住民に説明できないようなことは改めるべきだ。

賛成 山下議員

実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率と、赤字になっておらず努力が認められる。

賛成 前田議員

町民の要望に応えながら相当の努力をし、黒字決算となっている。

賛成 桑本議員

自主財源、依存財源の確保、また財政運営の構築化、健全化に細心の注意が払われた決算である。



● 物産館ことうらオープン 3億7,323万円



● 東伯中学校プール改修 2,926万円



● 台風被害復旧事業 1億5,573万円

# 平成23年度決算

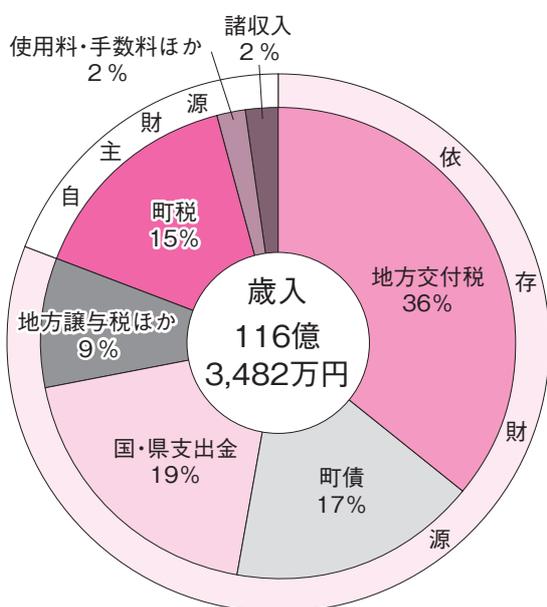
# 一般会計

—— 歳入116億3,482万円(前年比10億9,817万円増)

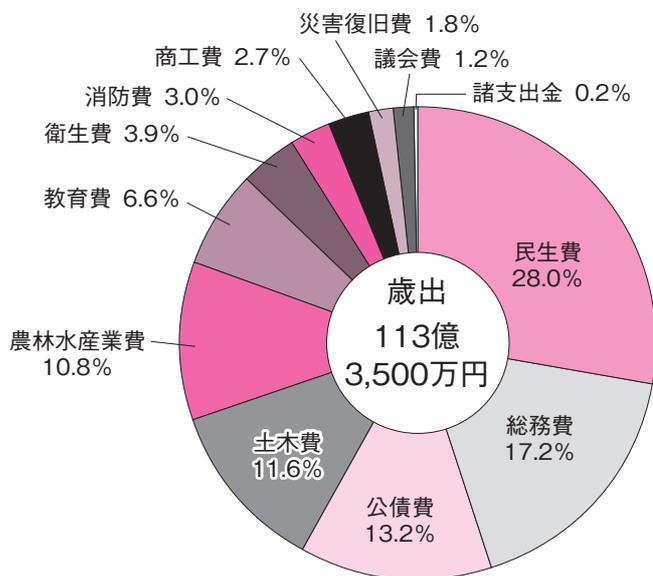
**9月  
定例会**

平成24年9月定例会が、7日から21日までの15日間の会期で町長から条例制定、補正予算、決算認定など33議案が提案されました。

## ◆ 歳入(入ったお金)



## ◆ 歳出(使ったお金)



## 23年度の主な事業



### ● 新庁舎建設事業

4億9,508万円



### ● やばせこども園開園

4億8,916万円

# ● 平成24年度一般会計補正予算の主な内容

## 浦安地区新保育園用地購入費など 2億1,684万円増額補正

### 補正予算の主な内容（一般会計） 第4号

○浦安地区新保育園実施設計等委託料	2,531万円
同建設用地購入費	7,344万円
○赤碕文化センター駐車場造成工事	1,600万円
同用地購入費	509万円
○暴風被害復旧対策事業補助金	510万円
○街路灯LED化推進（修繕料）	1,000万円



赤碕文化センター

## 臨時会

9月定例会までの間に、7月30日と8月29日に臨時議会が開かれました。

主な内容は、前年度繰越の増額に伴う補正、ロンドンオリンピック銅メダルの川中香緒里さんの功績をたたえる町民栄誉賞条例の制定、赤碕中学校プール改築工事の契約などでした。



9月8日に川中さんへ  
町民栄誉賞が贈られま  
した。

赤碕中学校プール  
改築により、町内  
の小・中学校のプ  
ールが全て新しく  
なります。



このようなプールになります。(写真は東伯中学校プール)

ここが聞きたい

# 一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
小椋 正和	①アーチェリー場の創設と今後の取り組みについて	5
石賀 榮	①大津いじめ問題について ②人権社会教育について	6
藤本 則明	①町の文化財への取り組みについて	7
高塚 勝	①町内小中学校のいじめについて ②交通空白地の交通弱者について	7
青亀 壽宏	①町長の今後の福祉に対する政治姿勢について ②合併10年を展望した行財政改革の取り組みについて	8
手嶋 正巳	①企業誘致の現状と今後の見通しについて	9
山田 義男	①同和対策事業、同和教育といじめ問題について	10
語堂 正範	①琴浦版若者定住促進条例を制定してはどうか ②琴浦版スポーツ振興のまちづくり条例を制定してはどうか ③町営バスをデマンド対応型交通にしてはどうか	10

※詳しい内容については琴浦町ホームページ掲載の会議録をご覧ください。



川中選手の試技



小椋 正和 議員



ロンドンオリンピック  
ツクアーチェリー競  
技での川中選手の銅メダル獲  
得を記念してアーチェリー場  
を創設されないか。また、創

普及の取り組みを検討する 永田教育長

前向きに検討している 山下町長

アーチェリー場創設と  
町活性化のため競技普及を

設に伴い器具などを整備されないか。

メダリストの町として町活性化のため競技大会の開催などを誘致されないか。

中学校部活動にアー

チエリー競技を取り入れられないか。また、町内の競技経験者の活用を図られないか。

山下町長



アーチエリー場の創設は

町単独では困難であるが、既存施設の条件整備など、県アーチエリー協会と相談しながら検討する。器具の整備はある程度の予算措置はすべきと考えている。

る。

県内アーチエリー競技の誘致やイベント・講習会の町内開催など

アピールできる取り組みを検討している。

永田教育長



中学校部活動にアーチエ

リー競技を取り入れるのは、練習場・指導者の確保など課題があり難しいと考える。施設などの環境整備と合わせ、体育協会・スポーツ指導員・競技経験者の方にご協力いただきながら、社会教育の環境として競技普及の取り組みができないか検討していく。

## 大津市いじめ問題を受けての対応は

### 学校と連携し 取り組む

永田教育長



石賀 榮 議員

大津市のい

じめ問題を受

けて、町はどのように対応したのか。保護者会、校長会への対応は。教育委員会の今後の対応計画は。NPO法人全国いじめ被害者の会理事長の講演を町内中学校でされないか。



文部科学大臣の談話とし

て、いじめ問題の取り組みを進め再度点検を行うことについて、県教育委員会を通じて通知があった。これを受け学校訪問を行い、校長会でも周知し、より綿密な対応をお願いした。保護者会には学級懇談会などを通じ問題について話し合う機会があればお願いした

い。

今後の取り組みは、

県が現在進めているいじめ対応方針の見直しに合わせ本町の危機管

理マニュアルの見直しを検討している。講演会についても相手方、学校長等と相談し検討する。

## 人権社会教育 について

石賀議員

### 啓発活動の充実 を図る

永田教育長



知識が高い  
と思える人に



知識の高い  
低いではな

差別意識がある。どうとらえているか。東伯地区、赤碓地区で平成19年からの地区別差別事象の件数は。自身の問題として取り組むことの大切さを、多くの方に感じてもら

えていると思う。

ある。もう1件は聞き

差別事象は、東伯地

取り調査を行い、再発

区はゼロ、赤碓地区は

防止と適切な事後対応

2件である。1件は担

を関係所に要請し、対

当課と協議し、対策委

応された旨の報告を受

員会の設置を検討中

けている。

## 町文化財、保護と活用を

### 多様な活用を 行っている

山下町長



藤本 則明 議員



わが町には  
遺跡古墳群、

重要文化財などが数多  
くあるが、よりいっそ



文化財の保  
護について

は、有形文化財の損傷

箇所修繕に対する支援  
やその他文化財に対す

る周辺環境整備、樹木

復元3D映像やその他

医による診断など、保

文化財の映像を作成し

存・保護に努めてい

上映を行っている。ま

る。また、国・県・町

た、年間数回企画展を

指定文化財は、文化財

開催した。各地区公民

保護委員を巡視員とし

館を中心とした史跡ウ

て委嘱し、見回りをし

オーキングの取り組み

てもらい報告を受ける

や河本家保存会のよう

ようにしている。

な自主的な取り組みな

文化財の有効活用の

ど多様な活用を行って

ため昨年度は齋尾廃寺

いる。



齋尾廃寺3D復元映像視聴の様子

## 町内小中学校の いじめ対策は

### 取り組みを 見直している

永田教育長



高塚 勝 議員

童・生徒・教職員の教  
育はどのようにしてい  
るか。



①町内小中  
学校の児童・

生徒・教職員に対して  
のいじめの実態は。ま  
たその調査方法は。  
②いじめ被害にあった  
時、どのように対応す  
るかを児童などに指導  
しているか。  
③いじめに対する、児



①今年度は  
中学校で8月

はじめに1件の報告が  
あった。早急な対応で  
解決にむけた取り組み  
がなされ、深刻化して  
いないと報告を受けて  
いる。教職員に対する  
いじめの報告はない。  
アンケートの他連絡帳  
や普段の会話など、日

ごろ教師がアンテナを高くし情報収集している。

②児童生徒には、悩みがある場合は相談しやすい人に相談するよう指導している。また、はじめの情報が入ればすぐに学校長に報告するとともに、関係職員で情報を共有し、聞き取り調査、事実確認の把握を行い、指導方針を決定していくこととしている。

ない集落の交通弱者対策は。

②今年3月議会的一般質問でデマンドバス（利用者の申し込みにより運行するバス）を検討すべきと提言し、検討するとの答弁だったが、検討結果は。



ことうらバス

## 社会保障改革 福祉は大丈夫か

### 福祉のさらなる 向上に努める

山下町長



青亀 壽宏 議員

行政文書に国民健康保険について「互助制度」といった戦前の発想記述や、「行政職員は住民に対して指導的立場」など憲法の全体の奉仕者に反する記述もあり問題ではないか。

## バス路線外の 交通弱者対策は

高塚議員

### 一定の方向を 示したい

山下町長

①ほとんどバスの恩恵を受けているが、路線に入っていない



①本町では他の自治体と比べても遜色ないきめ細かなバス路線を維持している。またその他にも重度障がいタクシー料金助成制度、高齢者に対する外出支援サービスなどの対策を

②デマンドバスについては現在導入にあたってのメリット、デメリット、他市町村の導入結果や検討を踏まえながら、交通弱者対策、持続可能な生活交通制度の構築を目指し検討している。24年度中には一定の方向を示したい。



消費税増税とともに社会保障制度改革法が成立し、今後の福祉の増進が「自助・共助」の強調でおおやけの支援である「公助」の後退が懸念される。これに町長はどう対峙するの

か。



社会保障制度改革法が成立し、今後の日本の社会保障の構造が安定するとともに地方財政も

含めて財政的な安定性が向上するものと期待できる。同法施行によりさらなる福祉予算への重点配分も見込まれ、町民の福祉の向上のため多様な事業実施を検討する。

町が運営している国

民健康保険を互助制度という表現は少しあたらなと思う。町職員は「指導的立場」という表現も解釈の問題もあるが、そういった部分があつて当然で、町民もそれを期待している。

## 合併10年見据え 不断の改革は必然

青亀議員

必要な措置を  
行うべき

山下町長

引き続き改善、  
改革に取り組む

永田教育長



合併10年を迎えるにあたり、改革は必然である。歳入確保の観点から固定資産税の同和

対策に係る減免措置は見直すべきである。

国の同和関連の法が失効して10年、特別対策を続けながら「一般対策」との強弁は詭弁である。教育委員会においても住宅ローンの回収などはやめて学校教育と社会教育に特化した改革を執行すべきではないか。

山下町長

**A** 行財政改革の取り組みとして行政改革プランに基づき毎年度当初予算査定において事務事業の見直しなどを行い、また削減だけでなく新たな政策、取り組みも行

っているところである。固定資産税の減免も、部落差別が現存しているという認識のもと、行政として必要な措置を行うべきと考えている。

永田教育長

**A** 教育委員会は、教育総務課、社会教育課、人権・同和教育課の3課を軸として業務を行っている。各課において行政改革プランに基づき業務の改革に取り組んでいる。今後にも必要に応じて改善、改革には取り組んでいく。

雇用の確保・拡大を図る目的で企業誘致のための用地確保、地下水調査を行い、地元では説明会を実施されているが、反対が多いと聞いている。企業誘致は相手方があり簡単には行かないと思うが、町長の任期中にはある程

## 企業誘致の現状と 今後の見通しは

精力的に取り組む 山下町長



手嶋 正巳 議員

度の判断をすべきである。万が一の場合どのような考えをされているか。



雇用の確保・拡大を図る



現時点では相手企業の工

場の立地場所について決定はしていないが、当該部落には理解が得られるよう今後とも努力していく。企業誘致は本町活性化の最重要課題と認識しており、現在予定している企業が仮にできない場合も、

関西事務所の活用や  
し誘致が実現するよう  
県・関係機関とも連携  
取り組んでいく。

## 同和対策事業、同和教育 といじめ問題について

継続して取り組む 山下町長  
重要な教育である 永田教育長



山田 義男 議員



① 同和対策  
審議会答申

は、部落差別が現存する限り行政の責任として推進しなければならぬと指摘しているが、町長の考えは。

山下町長



① 同和対策  
審議会答申の

精神はその後の地域改善対策協議会意見具申、同総括部会報告書に継承され、本町での同和対策及び人権教育は報告書に基づく施策である。あらゆる差別をなくする実施計画後期分を策定し、総合的かつ計画的な事業推進を図っている。

要がある。

永田教育長



④ 人権同和  
教育は人としての生き方、あり方の教育であり、人と人とのきずなづくり、仲間づくりを進めていく上で果たす役割は大きいと認識している。いじめ未然防止の観点からも重要な教育である。



## 琴浦版若者定住促進条例を制定してはどうか

条例化も視野に入れ検討 山下町長



語堂 正範 議員



琴浦町の人口推計は平成

47年には生産年齢人口が6、589人と現在のほぼ半分になると推計されている。これは、今の産業を半分の人口が支えるという危機的状態を想像できる。この問題を解決するためにも、若者が琴浦町に残る政策を実施できる



定住促進、子育て施策は

全庁的に取り組むべき総合対策であると認識し、各分野で事業を進めているが、町内外にいま1つPR不足の面があるのではとも感じている。再度若者定住の観点に立ち横断的に事業を検証し推進していく。その上で必要であれば条例化の取り組みも考えたい。

# 琴浦版スポーツ振興のまちづくり条例を制定してはどうか

語堂議員

継続して検討する

山下町長

今後の課題としたい

永田教育長



川中香緒里  
選手がロンド

ンオリンピックで銅メダルを獲得されるとい  
う琴浦町民として大変  
喜ばしい出来事があつ  
た。これをきっかけに、  
未来を担う子供たちが  
らスポーツで活躍する  
選手を育てる取り組み  
の支援、また町民の健  
康を維持するための条  
例を制定すべきと考え  
るがどうか。



東伯郡民体育大会（サッカー）

山下町長



町総合計画  
に基づき、保

健・医療の充実、スポ  
ーツレクリエーション  
の振興の分野で健康づ  
くり・体力づくりを通  
した相互に連携した事

業を推進している。現

時点での条例制定は必  
要ないと考えるが、今  
後の総合的事業推進を  
行う中で、条例の必要  
性も含めて検討してい  
く。

永田教育長



現在、スポ  
ーツ少年団活

動に対する補助金など  
の支援、小中学校にお  
ける部活動の実施や全

国大会派遣費支援な

ど、子供たちの競技力

向上やスポーツ振興の

側面からサポートして

いる。これからは健康

対策課や福祉課とタイ

アップした介護予防目

的の運動指導や健康ス

ポーツなど総合的な視

点での事業展開が重要

と考える。琴浦版スポ

ーツ振興のまちづくり

条例も今後の課題とし

て考えたい。



# 町営バスをデマンド対応型 交通にしてみようか

語堂議員

検討中である

山下町長

関係課と協議していく

永田教育長



8月22日に

小学校統合に

向けての準備委員会が

組織された。統廃合が

進む中、問題の1つと

して登下校で利用され

るバスのが考えら

れる。町民がより良く

利用できるシステムづ

くりとして町営バスを

スクールバスなどと併

用した「デマンド対応

型交通」にはどう

か。



山下町長

通学バスの

運行形態につ

いては現在協議中の段

階である。デマンドバ

スの導入については、



「琴浦さん」のラッピングバス



永田教育長

通学バスに

ついては現在

統合準備委員会でスク

ールバスでの運行か町

営バスか協議してい

だいている。デマンド

対応型交通について

は、今後の町営バスの

全体運行体系の中で関

係課と協議していき

た

い。

メリット、デメリット、  
経済性、利便性、他市  
町村の導入結果や課題  
を踏まえながら、交通  
弱者対策と持続可能な  
生活交通制度の構築を  
目指し検討中である。

## あなたも議会を傍聴してみませんか？

議会は町の予算や方針などを決定するところであり、町について関心のある方は是非議会の傍聴においでください。

議会の傍聴を希望される方は、本会議の当日、琴浦町役場本庁舎2階の本会議場入口に設置してあります傍聴人受付簿に住所、氏名など必要事項を記入していただければ、傍聴することができます。

議会の日程や内容について解らないことがありましたら、お気軽に議会事務局にお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

琴浦町議会事務局 TEL (0858) 52-1710 FAX (0858) 49-0000

# 議会のうごき



9月 9月定例会最終日に、現在建設中の新庁舎工事現場を視察しました。



7月 多くの議員があいサポーター研修を受け、琴浦町議会が鳥取県からあいサポート団体に認定されました。



7月 町村議会広報の全国研修会に参加しました。今後の「議会だより」づくりに活かします。



あいサポート団体とは…障がいの特性や必要な配慮などを理解して、障がいのある方を手助けすること。「あいサポーター」といいます。誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指し、この「あいサポーター」の普及などに積極的に取り組む企業、団体があいサポート団体です。

## 中部町村議会議長会永年在職議会議員表彰

10月3日、永年在職議会議員表彰式が行われ、本町議会の6名の議員が町村議会議員として10年以上在職し、功労があったとして表彰されました。今後ご活躍を期待します。

表彰を受けられた議員は次のとおりです。写真右から、金田章議員、手嶋正巳議員、新藤登子議員、小椋正和議員、武尾頼信議員、高塚勝議員。



# 委員会報告

## 総務

### 決算認定

総務常任委員会は、付託された平成23年度琴浦町一般会計決算と各財産区特別会計決算について、各担当課からの説明を受け、質疑を行い審議しました。一般会計は賛成多数で承認し、各財産区特別会計決算も全会一致で承認しました。

### 「地方財政充実・強化」の陳情を採択

本会議において付託された「地方財政の充実・強化を求める陳情」について全会一致で採択が適当と報告し、本会議でも採択され関係機関に意見書が送付されました。



た。また、議員提案として2件意見書を提出しました。

委員長 金田 章

## 教育民生

### 決算認定

教育民生常任委員会を9月18日に開催し、所管の各課より決算の成果説明を受け、委員より意見・質問等を受けた後、諮ったところ認定することとしました。また、国民健康保険・住宅新築資金等貸付事業・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計4議案につき諮ったところいずれも原案のとおり認定することとしました。

委員長 藤堂裕史

## 農林建設

### 決算認定

当委員会に付託された平成23年度一般会計決算、農林建設部門及び農業集落排水事業、下水道事業、水道事業会計剰余金の処分、各3特別会計決算について、9月14日

に委員会を開催し、慎重に審査し、一般会計決算農林建設部門については全員一致で認定することに決しました。

また、特別会計の3議案も全員一致で認定と決し、本会議に報告しました。

### 琴浦梨選果場を視察

9月13日、釣の琴浦梨選果場を視察（写真）しました。

旧東伯と旧赤碓の梨生産部が合併し、新しい光センサーの選果機導入ということで、鳥取中央農協生産部長に説明いただきながら注目して視察を行いました。

委員長 手嶋正巳



## 議会基本条例調査特別委員会

### 条例素案を検討

9月3日に作業部会を開催し、琴浦町議会基本条例の素案を完成しました。

9月12日に特別委員会（全議員で構成）を開催し、素案について議員の意見聴取を行いました。

様々な意見に対して、9月20日の作業部会で検討を行い、今年度の条例制定を目標にさらに協議を進めることになりました。

委員長 高塚 勝



# どうなっている あなたの陳情

[平成24年9月定例会]

番号	件名	提出者	要旨	委員会付託	結果
陳情第7号	陳情書〔少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請について〕	鳥取県教職員組合 中部支部長 川上 慎治	学級規模を30人以下の少人数とし、義務教育費の国の負担割合を2分の1にすることを要請する。	教育民生	採択 意見書提出
陳情第8号	地方財政の充実・強化を求める陳情書	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 琴浦町職員労働組合 執行委員長 林原 祐二	地方財源の充実・強化をはかるため、地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再分配機能の強化など抜本的な対策を求める。	総務	採択 意見書提出

## 議員提案で意見書

議員提出議案として、以下の2件につき委員会にて審議し、全員一致で国に対し意見書を提出することとし、本会議で可決されました。

件名	提案者	要旨	結果
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組」の構築を求める意見書	教育民生常任委員会	「地球温暖化のための税」の一定割合を、森林面積に応じて市町村に譲与する「地方財源を確保・充実する仕組」を早急に構築することを求める。	原案可決 意見書提出
北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	総務常任委員会	国において強固な国際社会連携のもと、拉致問題の全容解明とすべての日本人拉致被害者の早急な帰国を実現するよう全力で取り組むことを求める。	原案可決 意見書提出

### 人

### 事

#### ○教育委員会委員

任期満了に伴い、小林克美（新任）琴浦町逢東、石前富久美（再任）琴浦町下伊勢 両氏の任命について同意しました。

#### ○監査委員

任期満了に伴い、松田道昭 氏 琴浦町八橋 の再任について同意しました。

#### ○選挙管理委員

選挙管理委員選挙を指名推薦にて行い、源内文夫 氏 琴浦町野田、山内和栄 氏 琴浦町浦安、坂口勝康 氏 琴浦町八幡、橋井操 氏 琴浦町竹内 が当選人となりました。

# 町民の声



大成 安岡富貴子

私は、琴浦町女性団体連絡協議会の一員として、町民と行政がともにまちづくりを進めていくための原則や仕組みを定める「自治基本条例策定」に向けて、広く町民から意見を聞き、町民自らも、自分たちで出来ることを話し合う会でした。

琴浦町のよい所は、自然豊かで食べ物がおいしい。悪いところは働く場が少ない、人間関係が希薄、ボランティアをする人が足りない、町に活気がない、ゴミが多いなど、意見が出ました。

住みよい、暮らしやすい町にするには、防災設備の充実、結婚対策、男女共同参画の推進、健康対策の充実、豊かな自然を活かした中山間地への学校移転などが出ました。

私は、町民みんなの幸せは、

第一に「健康」が必要、それを条例に活かしてほしいと思います。

最近、若くしてガン、脳卒中、心臓病、糖尿病で生涯を終える人が増加しています。本人、家族、地域の悲しみは計り知れません。子供のうちから良い食生活を定着させ、全世代を対象とした食育の推進を、また、他分野でも、住民のニーズに寄り添った自治基本条例となることを期待しています。



浦安 倉光 誠一

私は、定年退職し、40年振りに広島からUターンして来ました。帰ってみると気が付くことがいろいろあり、何か条かを町議会議員さんにお願ひしました。例えば一理松踏切に歩道がなく、徒歩や自転車の人が危険な

ことや、私が倉吉の高校に通学していた頃、浦安駅で乗車する人の多くは駅の南側の人なのに、駅舎は北を向いてたくさんの方が不便を感じていたことなど、これらはほんの一例です。

このような事が何十年間もどうして放置されていたのだろうか？ 誰一人気が付かなかったはずはない。不便を当たり前と思ひ改善し

ようと思う人がいなかったのか？ とても不思議に思うのでした。

何を言っても無駄だと初めから諦めてしまうのか？ すべて他人任せなのか？ このような体質を改善して、本当に住みよい町にするために、みんなで協力していかねばならないと強く感じたのです。

あとがき



暑かった夏、ロンドンオリンピックで湧いた夏、アーチェリー団体戦で銅メダルを獲得した川中香緒里さん。「鳥取県琴浦町」その名を日本全国に広めていただき、こんなにうれしい事はありません。

この度、議会広報では「町民の声」を復活しました。皆さま方が普段思っておられる事を紙面に掲載させていただきますました。

広報委員がお願いにまいりましたら、快く受けてくださいますようよろしく申し上げます。最後に、ご意見ご感想をお寄せいただきますよう、委員一同お待ちしております。

(新藤 登子)

## 議会広報特別委員会

- |      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 語堂 | 正範 |
| 副委員長 | 山田 | 義男 |
| 委員   | 青亀 | 壽宏 |
| 委員   | 手嶋 | 正巳 |
| 委員   | 藤堂 | 裕史 |
| 委員   | 新藤 | 登子 |